

南海電鉄主要駅構内で新ATMサービスを開始
さらに、南海電鉄と提携カード発行

地域のお客さまへの利便性提供を目的に『南海電鉄』と協議を続けてきた新ATMサービス「NBANK」Patsatを、平成25年2月27日、南海電鉄駅構内（南海難波駅をはじめ、15駅・18カ所・23台）において、スタートしました。

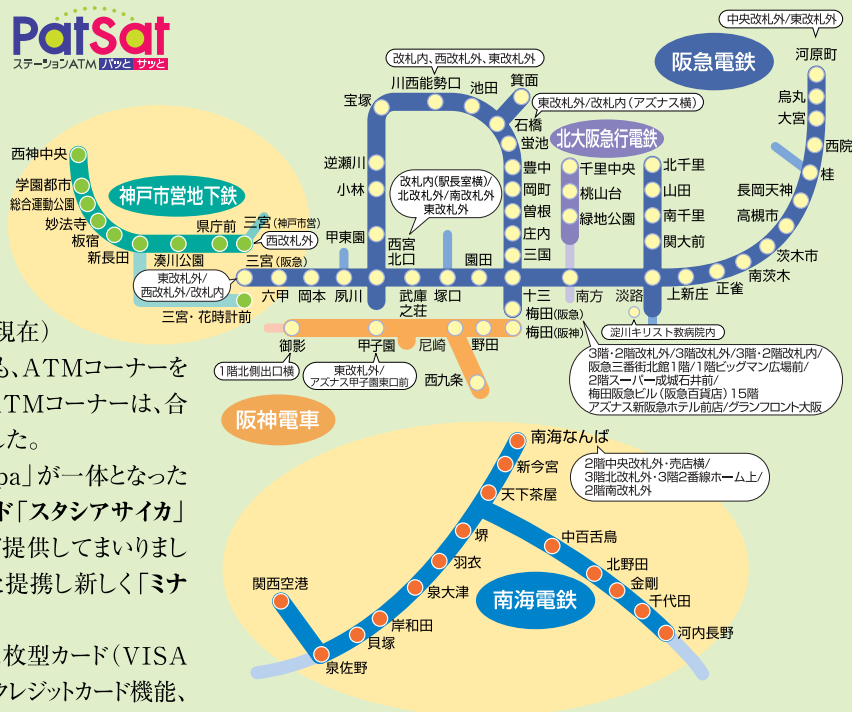
駅のATM「Patsat」は、同時期に神戸市営地下鉄の三宮駅など10駅にも拡大したほか、4月26日、グランフロント大阪内「アズナス」にも設置。合計75駅・98カ所・124台となりました。（平成25年4月末現在）

なお、グランフロント大阪の北館地下1階にも、ATMコーナーを開設し、これにより「大阪・梅田」エリアのATMコーナーは、合計15カ所・29台となり、一段と便利になりました。

また、クレジットカードとIC乗車カード「Pitapa」が一体となった生体認証機能付多機能ICキャッシュカード「スタシアサイカ」は、阪急・阪神沿線のお客さまを中心にご提供してまいりましたが、このたび、これに加えて、南海電鉄と提携し新しく「ミナピタサイカ」としても展開いたします。

7月には、Pitapa機能が別カードとなった二枚型カード（VISAカード）を、11月には、キャッシュカード機能とクレジットカード機能、Pitapa機能が一枚となった一体型カード（JCBカード）を発行する予定です。

ひろがる「駅のATM」



STACIA  sa-ica



minapita  sa-ica [ミナピタサイカ]

